

医療ソーシャルワーカー室の業務改善について

黒木記念病院 麻生 昌義

1. はじめに

当院は、病床数 226 床に対して医療ソーシャルワーカー（以下：MSW）が 5 名業務を行っている。そのうち、回復期リハビリテーション病棟では、MSW1 名が常時 27～30 人の患者を担当している。

MSW の部門目標のひとつに「専門性の追求」を掲げており、相談援助の質の向上を図るため業務改善に取り組むこととなった。課題として、①ケースの振り返りをする時間がとれない、②他 MSW に相談をする時間がとれない、③残業時間が多い、ことがあげられた。

そこで今回、朝礼・終礼を導入することで、業務改善に至った成果について報告する。

2. 取り組み

- ・期間：2020 年 3 月～2021 年 3 月
- <朝礼>
- ・毎朝始業時に実施
 - ・それぞれの 1 日の業務の予定について報告
 - ・病床管理について報告、確認
 - ・他機関との面談予定や外出予定の確認
 - ・施設の空床状況について情報共有
- <終礼>
- ・週 1 回 16：30～17：00 に実施
 - ・勉強会
 - ・事例検討会
 - ・研修会の報告、情報共有
 - ・業務改善についての話し合い

3. 結果

4.

- ・1 日の業務内容の把握ができた
- ・業務の効率化が図れた
- ・ケースについてより深く考えることができた
- ・MSW 同士で学びの共有ができた
- ・情報共有シートなどのツール作成ができた
- ・コミュニケーションをとる時間が増えた
- ・お互いの業務内容を把握することができた

4. 考察

業務改善に向けて、朝礼と終礼を導入することで、業務の効率化を図ることができ、困難事例について、一人で悩まず話し合う時間を持つことができた。

しかし、①1 日の業務の達成状況の確認ができていない、②終礼時間に MSW 全員が集まらないことが今後の課題としてあげられる。

今後も朝礼と終礼の取り組みを継続していき、より一層の業務改善を図っていきたい。